

第458号  
2016年1月1日

(毎月15日発行)

1部20円(組合員の購読料は  
組合費に含む)

# JR貨物労組

日本貨物鉄道労働組合  
〒114-0013  
東京都北区東田端1-16  
JR貨物田端信号場駅5F  
☎NTT 03-3819-7071  
JR 054-2901~3  
発行人 相澤 武志  
編集人 藤田 尚輝



## 闘春

謹んで初春のお慶び申し上げます  
今年も組合員の利益を守るために  
労働組合らしく奮闘します

### 労働組合の存在をかけた 『決戦の年』力を尽くそう!

中央執行委員長 相澤 武志



JR貨物労組・JR貨物労連に結集するすべての組合員・ご家族の皆さん、明けましておめでとうございます。いよいよ『決戦の年』2016年の幕があがります。JR貨物・労組中央本部は、結果する組合員・ご家族の利益と働く者の権利、平和な社会を実現するために粉骨砕身奮闘することを明かします。

#### 『労働組合の真価が問われる』

元外務省分析官佐藤優氏は、「いま世界は『殺し合』世界へ向かっている。その背景には格差と貧困がある」と語っています。現に日本における安倍政権は、昨年安保法制を成立させ、駆けつけ警護等の名のもとに日本の自衛隊員が海外で人を殺し合つことを可能としました。そして4月から始まる通常国会では、二度も廃案となった『共謀罪』の審議・成立を目論んでいます。同時に多くの国会議員を擁する『日本会議』は、「悲願であった憲法改正に向けて機は熟した」と氣勢をあげています。

一方、アベノミクスなどばかりの経済政策、によって、「デフレからの脱却」どころか、今年の経済成長率はマイナス成長となる懸念の声が高まっています。ゆえに今ほど組織された労働者・労働組合の存在が問われている時はありません。しかしナショナルセンター連合の姿は霧に隠れています。またJR内労働運動も他労組による利害と自己保身、企業権力者の思惑等々が相まって再編の動きが強まっているのです。

#### 『オール沖縄の闘いに学び、『たしろかおる』と共に』

いま沖縄の辺野古新基地建設は、選挙で示された民意を顧みず、『抑止力』を掲げて県内移転に向けた手続きや工事を強行しています。これに対して沖縄県知事は、辺野古沿岸部埋め立て承認を取り消した処分について訴訟を起し国と争つたことを決定しました。また人権、差別問題として米国や国連などにも広く訴える準備を進めています。

夏の参議院選挙は、紛れもなく『憲法改正』が焦点となります。一昨年のあらゆる垣根を越えて闘った衆院選、県民総意として正論を貫き、屈しない闘い、そして県民の意思を最大限尊重

重した各層リーダーの闘いを、今こそ『オールジャン』の闘いとして夏の参議院選に挑まなければなりません。

そしてその中心幹は紛れもなく私たちが組織内予定候補者『たしろかおる』です。想像してください。『たしろかおる』の『守るべきものは職場と仕事と生活!』

#### 『守るべきものは職場と仕事と生活!』

今年JR貨物は、中期経営計画の最終年度を迎えます。鉄道事業の黒字化を実現するために、鉄道事業△39億円を土0にするということです。貨物経営陣は監督官庁の視線もあって、その実現のために必死に知恵を絞るでしょう。しかし今日の経済動向や物流指数、会社の財務体質を考慮すれば極めて困難な道となることは必至です。

私たちは労働組合です。JR貨物に働く労働者として、黒字化に向け汗を流すことは言うまでもありませんが、私たちの守るべきものは「組合員の職場と仕事と生活」であり、家族の幸せです。むしろ職場が暗く、疲弊し、組合員が疲弱困窮である、計画の実現どころか、鉄道貨物輸送の安全性の確保すらままなりません。

中央本部は職場の最先頭で働く組合員が「明るく、元気に」業務遂行できるように、今日のJR貨物経営体質の改革に挑み、組合案・政策提言の表現をめざします。よってすべての組合員の皆さん、今年私は私たちにとってまさに正念場です。すべての組合員が心ひとつにして、自信と確信をもって鉄道貨物輸送の将来を展望し、組合員の要求の実現をめざして職場闘争を強化しようではありませんか。我が未来はこの手で掴もう!

中央執行委員長	相澤 武志
中央執行副委員長	松村 慎一
中央執行副委員長	定国 彰
書記	伊藤 俊也
組織部長	伊藤 俊也
教宣部長	藤田 尚輝
業務部長	村上 貴史
政策・調査部長	寺西 英哲
交渉部長	佐々木 真也
特別執行委員	桑澤 勲
特別執行委員	境 将光
特別執行委員	佐久間 晃史
特別執行委員	高木 康之
特別執行委員	永島 守
顧問	伊藤 憲治
会計監査員	由利 靖寛
会計監査員	古川 宏之
書記	千葉 美佐子
書記	関 由香
書記	岩間 祐美子
書記	元旦